

臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある患者様で、個人が識別される診療情報等を研究に利用されることを希望されない場合は、以下の連絡先にお問い合わせください。同意されない場合でも、診療上の不利益が生じることは一切ありません。

■ 研究の対象期間と対象となる患者様

2013 年 1 月 1 日～2026 年 7 月 31 日に、当院で頭蓋内硬膜動静脈瘻に対して血管内治療をお受けになった方

■ 研究課題名

「頭蓋内硬膜動静脈瘻に対する血管内治療の治療戦略、画像所見および治療成績に関する検討」

■ 当院の研究責任者(所属)

門岡 慶介（脳血管内治療科）

■ 当院の試料・情報の管理責任者(所属)

門岡 慶介（脳血管内治療科）

■ 本研究の目的・方法・研究実施期間

硬膜動静脈瘻（DAVF）は、硬膜内の動脈と静脈の間に異常な短絡が生じる疾患です。病変の場所や静脈への血流の流れ方により、耳鳴りや眼症状だけでなく、脳出血や神経症状を起こすことがあります。治療には、動脈側から塞栓する方法、静脈側から塞栓する方法、両者を組み合わせる方法があり、患者様ごとの血管の形や血流に応じて選択されます。

当院でこれまでにを行った血管内治療について、診療記録、画像、手術記録を後方視的に調査し、治療方法の選択、治療中の方法変更、術中の三次元画像やコーンビーム CT の有用性、治療効果、合併症、再発との関連を検討します。研究のために新たな検査や治療を行うことはありません。

研究実施期間：2026 年 9 月 3 日～2031 年 3 月 31 日

■ 研究に用いる試料・情報の項目

- 患者様の背景：年齢、性別、病歴、既往歴、内服薬、症状、日常生活自立度
- 検査データ：血液検査、凝固検査、腎機能
- 画像：CT、MRI、MRA、脳血管撮影、三次元回転血管撮影、コーンビーム CT
- 病変の情報：病変部位、流入動脈、シャント部位、流出静脈、静脈逆流、静脈洞の狭窄・閉塞、出血・静脈うっ血の有無

- 治療情報：治療経路、使用したカテーテル・塞栓物質・コイル、治療中の方法変更、術中画像所見、手術時間、透視時間、放射線量、造影剤使用量
- 治療後の情報：シャント閉塞、症状改善、合併症、再発、再治療、臨床転帰、等

■ 他の研究機関への提供・提供方法

他の研究機関への試料・情報の提供はありません。

■ 個人情報の取扱い

研究で利用する情報から、患者様を直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

■ お問い合わせ先

担当者（所属）：門岡 慶介（脳血管内治療科）

電話：04-7092-2211（代）